

## 平成 27 年度第 1 回 PF-UA 運営委員会議事録

日時：平成 27 年 6 月 4 日 10:00-12:45

場所：つくばサイエンス・インフォメーションセンター 中会議室

出席者：平井光博（会長）、近藤寛（庶務）、田中信忠（会計）、植草秀裕（行事・書記）、山本勝宏（広報）、腰原伸也、朝倉清高（戦略）、奥部真樹（推薦選挙）、上久保裕生（共同利用）、吉田鉄平（編集）、米山明男、栗栖源嗣、横谷明德、鈴木昭夫、若林裕助、今井基晴、阿部善也、志村考功、櫻井伸一、東善郎、増田卓也、木村千里、雨宮健太、千田俊哉、村上洋一（運営委員）、兵藤（事務局）

- ・平井会長より新体制発足の挨拶があった。
- ・小委員会メンバー（案）を協議し決定した。
- ・各幹事の用務内容の確認を行った。
- ・「PF と PF-UA の覚え書き」の確認を行った。第 8 条などの修正について協議し、修正することを決定した。
- ・平成 26 年度会計報告と平成 27 年度予算案を確認した。（田中会計幹事）
- ・ユーザーアクティビティの公表方法について報告が行われた。成果登録（論文、博士・修士論文の登録）システムは改良予定。データの公開に関して配慮する。
- ・PF-UA からの情報発信の改善について協議を行い、PF-UA メンバーの情報共有、研究・教育活動の活性化、対外的な情報発信の強化のためにホームページの改良を行う事とした。
- ・PF-UA 主催ユーザーグループ・ワークショップ開催に関して議論を行った。UG 活動の活性化、ユーザーの UG 加入率向上、UG 間の交流、PF コミュニティの活性化と一体感醸成を目的として、ユーザーグループ横断的な研究会・ワークショップの開催が提案され、引き続き検討することとした。
- ・PF の将来計画に関して、事前配布資料（PF-UA 白書「PF および日本の放射光科学の将来への提言」、文部科学省：平成 27 年 4 月「次世代放射光施設ワーキンググループ報告書」、日本学術会議「学術の動向」2015.5、物質構造科学研究所「物構研の将来像（暫定版）」）の重要な内容について紹介された。
- ・PF 報告が行われた。（村上施設長）

・賛助会員の増加に向けて議論を行い、PF-UA からの情報提供や働きかけを検討する事とした。

・今後の活動方針、PF 将来計画に対する対応など「PF-UA が進むべき方向」について議論した。喫緊の課題への対応として、ビームタイム問題があり、機構内外へのアピールや働きかけを検討する事とした。中期的課題として、PF 次期計画に対するユーザーの要望の明確化が必要であり、アンケート実施等により、ユーザーの要望に関する情報の更新を行う事とした。次期計画・将来計画については戦略・将来計画検討小委員会を中心に具体案を PF-UA に提案する。長期的な課題としては、PF 将来計画に対するユーザーの要望の明確化が必要であり、また ERL について、ユーザーからの意見をいただきたい。

・PF ユーザーの要望や動向を調べる新規アンケートの実施とその方法に関して協議を行った。博士・修士論文登録について、ビームタイムについて、PF の運営・将来構想等について、アンケートを行う計画であり、詳細を検討して実施する事とした。

・外国人利用者に向けた英語での情報提供の必要性について議論し、部分的に行う方向で検討する。

・ビームタイムの更なる増加を目指す働きかけについて議論を行い、戦略・将来計画委員会が検討を行う事とした。

・UG と施設側、UG 間の連携や情報共有を行うことで、UG、BL 担当者の問題を減らす事が出来るので、双方に協力をお願いしたい。(腰原戦略・将来計画担当幹事)